

会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 安次峰 暁

あけましておめでとうございます。
 会員の皆様には輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年も当会の活動に対しまして温かいご支援とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。本年も昨年同様何卒宜しくお願い致します。

昨年後半にはラグビーの「五郎丸」が大きな話題になり、我が母校の名を大いに盛り上げてくれました。一方、当会の総会の後で行った講演会で大相撲の元関脇「琴錦関（中村親方）」の講演も大好評でした。

それから、昨年は「ホームページ」をリニューアルすることができました。担当者のご苦勞に感謝致しております。今後「ホームページ」が会員獲得の要になってもらえしたいと思います。そして、これまで「ホームページ」を一から立ち上げ、永い間維持管理をただ一人で守ってこられた松崎先輩には本当にお世話になりました。心より感謝申し上げる次第であります。永い間有難うございました。

大学の方では「WASEDA HEALTH STUDY (WHS)」・・・『早稲田大学校友の元気で長生きの秘訣は何か?』という20年間の壮大な研究にご協力ください』という要請があり検診者を募集しております。目標人数に足りずに広くお声がけをしております。ご希望の方は「早稲田大学スポーツ科学学術院」(04-2947-4614 WASEDA'S Health Study 事務局)へお申し込みをお願いします。

今年も1月24日(日)新年会を皮切りに、4月17日(日)に定時総会を開催致します。会員およびご家族の皆様のご参加をお待ち申し上げます。又、各部会もみなさまのご入会を常時受け付けておりますので是非ご利用下さい。

新しい年を迎え皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



会の告知板

【部会予定】

1月24日(日)	東久留米稲門会「新年会」	16:00	成美教育文化会館
1月28日(木)	ウォーキング部会「長瀬・宝登山の蠟梅散策」	09:10	東久留米駅改札口
2月3日(水)	グルメ部会「駒形どぜう」	11:45	東久留米駅改札口
2月7日(日)	第4回役員会	16:00	生涯学習センター
2月9日(火)	カラオケ部会「安藤信雄さんの米寿を祝うカラオケ会」	18:00	オンチッチ
2月11日(祝)	諸芸術鑑賞部会 早稲田大学交響楽団ニューイヤーコンサート	15:00	練馬文化センター
2月24日(水)	映画鑑賞会『大いなる幻影』	14:00	成美教育文化会館
4月1日(金)	ウォーキング部会「桜のトンネル：多摩湖自転車道路～小金井公園」(予定)		
4月17日(日)	東久留米稲門会第22回定時総会	14:00	成美教育文化会館

<各部会定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	20	水	10:00~	中央町地区センター	17	水	10:00~	中央町地区センター
囲 碁	24	日	13:00~	成美教育文化会館	28	日	13:00~	成美教育文化会館
俳 句	17	日	13:00~	東久留米商工会館	21	日	13:00~	東久留米商工会館
書 道	17	日	13:00~	成美教育文化会館	14	日	13:00~	生涯学習センター
太極拳	16	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	6	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	23	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	13	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	30	土	10:00~12:00	成美教育文化会館	20	土	10:00~12:00	成美教育文化会館
	—	—	—	—	27	土	10:00~12:00	成美教育文化会館

【大学・校友会関係】

1 月 9 日(土) 校友会東京三多摩支部「事務局連絡会議」 13:30~たましん RISURUホール(立川)
 3 月 5 日(土) 校友会代議員会 16:00 大隈講堂

会の報告

◎10 月 17 日(土) 小平稲門会総会 安次峰会長、河村副会長出席
 ◎11 月 8 日(日) 東村山稲門会 別処副会長、高橋事務局長出席
 ◎11 月 15 日(日) 東京三多摩支部総会 安次峰会長、高橋事務局長、吉川幹事、小山田出席
 ◎11 月 22 日(日) 清瀬稲門会総会 渡辺副会長、小山田出席
 ◎12 月 4 日(金) 東京三多摩会長会 安次峰会長出席
 ◎12 月 5 日(土) 商議員会 安次峰会長、平山会員、菱山会員出席

◎役員会報告 平成 27 年度第 3 回役員会が 12 月 13 日(日)16:00~生涯学習センターにて開催された。

<議事録概要>

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係 ⇒出席報告、三田会新年会案内への対応、事務局で相談
2. 平成 28 年新年会、1 月 24 日(日)16 時より ⇒幹事は 15:00 会場集合。16:00 開宴。
 司会：別処副会長、受付：河村(遅刻予定、到着まで小山田代行)、塚越幹事、東海幹事。
 ビンゴゲームを実施(担当：別処副会長)、ゲーム及び賞品購入に若干予算を使用。賞品提供できる方は当日持参(賞品の持寄り要請)。新入会員 3 名参加予定。それぞれに同年代のアテンド要員配置。
3. 平成 28 年度定時総会講演について ⇒ラグビー部 OB の今泉清氏を招請することに決定。
4. 会員増強について ⇒担当の渡辺副会長より、12 名で 2 つのチームを作り活動開始。「部会活動の見直し」と「新部会の立ち上げ」、「女性会員の増加」を目指す、との活動方針の表明あり。
5. 広報関係 ホームページ ⇒積極的に更新を。
6. その他 ⇒山崎会員から役員会宛文書による意見表明と質問あり。対応は三役+αで当たる事に。
 次回役員会 ⇒2 月 7 日(日)16 時~生涯学習センター創作室

部会報告

<ゴルフ部会>

11月11日(水)熊谷GCで第24回東久留米三田会・稲門会合同ゴルフ会を開催。まずまずのゴルフ日和の中、稲門会15名、三田会8名合計23名参加し賑やかなゴルフ会となりました。

個人戦は稲門会の東海さん(44年卒)がネット72.8(グロス106)で大会2度目の優勝、2位は三田会の城山さん、3位は稲門会の金子さん(49年卒)でした。当会のプレーヤーは、個人戦では7大会連続の優勝でした。団体戦も層の厚い当会が10ポイント差で圧勝し4連勝を遂げましたが、通算成績は稲門会10勝、三田会13勝1分けとまだ負け越しております。

表彰式は懇親会を兼ねてゴルフ場のコンペルームで行い、夕方5時過ぎには各位帰宅となりました。尚23名のグロススコアー内訳は80代1人、90代4人、100～110は10人、111以上8人で、平均106という結果が示す通り、広範囲のレベルの人が参加しております。スコアーに自信がない為参加を躊躇している人でも楽しめる会だと言えます。新規参加大歓迎です。

平成27年は稲門例会2回、三田会との合同2回、合計4回のコンペを開催し、稲門会員は延べ50人と大勢参加していただき感謝しております。

伊東 毅記



稲門諸兄の参加15名は過去最多

<囲碁部会>「合宿囲碁会」

囲碁部会の合宿囲碁会が、11月21日～22日に、ここ数年定宿となっている奥秩父小鹿野町の「湯の宿越後屋旅館」で行われました。今年は合宿日と定めた第四日曜日が、暦の関係で秩父の火祭りの10日以上も早かったため、例年に比べて秩父駅前もまだ静かでした。

駅から宿への間は紅が少なく、黄色にあふれた奥秩父のもみじ最盛期を迎えた、おだやかな秋日和でした。今回の合宿は西東

越後屋旅館での囲碁合宿





合宿参加 7名の棋士

京稲門会からの参加もあって、合計7名の碁会となり、21日の午後から夜、22日の午前中と、熱戦が展開されて、優勝は5勝1敗で西東京の木下さん、また、苺草部員に勝てば金星という部会ルールにより木下さんと西村部員が金賞を獲得しました。

22日には、奥秩父から秩父宮ラグビー場へ直行するという忙しい方も居ましたが、来年度も囲碁会をという1年後の予約を入れて、無事に越後屋旅館の合宿を終了しました。

「囲碁早慶戦」

囲碁早慶戦が12月5日に市ヶ谷の日本棋院で行われました。今回は出場者を絞って両校とも首都圏在住の囲碁部OB、一般OB併せて100名づつとし、棋力上位30名を無差別級、以下をハンディ級という対戦となりました。

人数制限のため、本部からの指名は東久留米稲門会(西東京稲門会を含む)から1名ということでしたが、最終的に、無差別級へ東久留米から1名、ハンディ級へ西東京から1名という出場になりました。

最近のOB囲碁大会は早稲田が押され気味でしたが、今年は無差別級が30勝30敗、ハンディ級がわずかに勝ち越して僅差の勝利を得ました。

来年度は無差別級、ハンディ級ともに勝ち越して連勝になります。

苺草 正守記



＜書道部会＞ 11月21日(土)～23日(祝) 「第8回作品展」

(入場者数：200余名、 会員全員出展、 出展数：73作品)



第8回 書道部会作品展 記念撮影

精魂込めた作品の発表の場です。開催期間中、多くの稲門会会員、友人、知人の方々に観覧いただき、部会員一同大変うれしく思い、感謝いたしております。有難うございました。

武藤、福田両先生の熱心な指導をいただき、小学校のお習字の時間以来、当部会入会后初めて筆をとった多くの会員もおかげさまで書道作品展に出展するという喜びを得ることが出来ました。師範の方、その域に向かっている方もおられます。継続して「書く」という事が苦痛から少し喜びに変わりつつある今日この頃です。

《当部会へのお誘いです》

純白の紙にそっと触れる筆先の感触、墨の香り、最高です。一緒に書を楽しみましょう。毎月、第二日曜日、生涯学習センターを中心に稽古しております。

渡辺 真司記

<ウォーキング部会> 第51回 ウォーキング リベンジの記

実施予定期日の約1ヵ月前に、当部会の帆角さんと、荒川に沿って数億年前の時代に地下数十kmの海底で変成作用を受けた岩石が露出している「岩畳」の上を、下見として歩いた。長瀬はライン下りの船からみる溪谷の景観が有名であるが、立場を変えて、景観を造形している結晶片岩という、薄い板状で独特の縞模様が美しい古代地球の産物が地殻変動で露出した岩の連なりを、足下に踏みなぞって行くことに、人間の歴史感覚を遥かに超える感嘆とも言える不思議な感慨を覚えた。そうしたことに加えて、長瀬の観光パンフレットでは、岩畳周辺の紅葉の美しさがフューチャーされており、それも期待しての計画であったが、計画期日直前にそれ以前とは天候が一変して生憎の空模様となった為に、残念ながら中止とせざるを得なかった。

しかしながら、計画作成時の期待と下見の時の感慨を捨て去ることに忍び難く、好天となった2日後の27日に、リベンジを果たすべく、一人で計画通りのウォーキングに出かけた。長瀬は「ジオパーク秩父」の中心をなす日本地質学発祥の地であり、長い年月に育まれた長瀬ならではの自然の美しさ、人の歴史を遥かに超える地質学スケールの歴史的産物を鑑賞出来る楽しさを「岩畳」で改めて認識したし、僅か数十年の人間の時間スケールとの違いに遥かな昔へのロマンを禁じ得なかった。加えて、折から埼玉県立自然の博物館で開催されていた、約1700万年前には古秩父湾という海であった現在の秩父盆地の、その後今日に至る過程を特集したイベントには、ジックリと引き込まれて楽しむことが出来た。

ところで、今一方の紅葉については、観光協会のパンフレットが長瀬の流域河岸全体に関わる華々しさを訴えているのとは裏腹に、紅葉の美しい場所はライトアップする一部の狭い場所に限られており、今回のウォーキング計画としては、多少拍子抜けの感を否めなかった。これらとは別に、観光用特別仕立てとは言え、秩父鉄道沿線で蒸気機関車の運行に出会うことが出来、どこもないノスタルジックな嬉しい感慨に浸ることができた。

次回は1月28日(木)に、同じ長瀬にある宝登山の蛸梅を訪ねることを計画したので、多くの方々のご参加をお待ち致します。

東海 俊孝記

<散策山歩き部会>

八国山～多摩湖（村山貯水池）へのハイキング



八国山にて記念撮影

11月29日(日)朝から快晴、参加者6名で所沢駅にて下車。「八国山」の登り口まで歩き、午前10時ごろから山中へ入る。海拔90メートルの頂上を尾根伝いに、ドングリや落ち葉を踏みしめながら「東京都」と「埼玉県」の境界線上を歩くこと約2,3キロメートル、三十数分で西武園方面出口に到着。久しぶりに森林浴を満喫した心地。そこから西武園遊園地に沿って歩き、「多摩湖」の堤防を渡り、東大和側の自転車道路に沿って「多摩湖」を半周したあと昼食となった。万歩計は1万6千歩をきざんでいる。その後「西武球場駅」で電車に乗り「所沢駅」まで。反省会を所沢プロペ通りの「百味」でじっくり行った。

安次峰 暁記

<女性サークル>

初冬とはいえ銀杏の木がまだ黄金色を保っていた12月9日(水)、女性サークルの昼食会が東久留米駅前の鮮乃庄で開かれました。会食に初めての参加者1名を含めて10名が集いました。

ボリューム満点の昼の御膳をいただきながら、まず自己紹介。初参加や久しぶりの方を考慮の温かい雰囲気の中で一回り。年代も経験も異なるのにみんなが共感しあって、和やかな輪が広がりました。



それから、最近の早稲田の同窓会関係の話題や健康、趣味、音楽、旅行などの話に花が咲き、あっという間の2時間でした。この冬に一緒に旅行をしたいという提案もあり、幾つかの温泉が候補にあがっていました。

最後に、次回の活動は1月20日(水)中央町地区センターで「古事記」の読書会ということを決めて散会となりました。また、冬はおだしの効いた煮物や汁物が一番ということで皆さんに高級なだしの素を持ってきてくださった方がいらして嬉しいお土産もいただきました。

三浦 洋子記

<俳句部会>

11月15日(日) 第184回句会 於:中央町地区センター

兼題:「冬茜」、「新海苔」

老二人新海苔焙る朝餉かな	三田畔巢
新海苔に生醤油一滴朝の幸	神田尚計
電柱に猫探すビラ初しぐれ	神田尚計
新海苔の茶漬けで締める至福酒	杉本達夫
夜半の海新海苔採りの舟灯	川俣栄一
つじつまの合はぬ夢見や霜の声	三田畔巢
遠富士に添ふ雲ありて冬茜	松田博雄

12月20日(日) 第185回句会 於:生涯学習センター

兼題:「牡蛎」、「冬木立」

冬木立参る人なき異人墓	河村洋子
梵鐘の余韻の中へ雪蛭	河村洋子
父母の墓すみを彩る実千両	本間信一
今はもう歩けぬ母と日向ぼこ	片平るみ
奥能登の荒磯育ちや牡蛎づくし	大久保泰司
電飾にがんじがらめの枯木かな	三田畔巢
新妻の初の手料理牡蛎フライ	川俣栄一
豪農に謡の聞こゆ冬木立	藤田貞夫
山脈の遠く透けたる冬木立	松田博雄

三点句以上 橘 優治記

<カラオケ部会> (カラオケを楽しむ会)

この冬は、エルニーニョ現象による暖冬模様で、穏やかな日々が続きましたが、新春2日の楽しみが一つ減り、一寸残念な年の瀬となりました。旧臘26日、2015年の掉尾を飾るに相応しく、丁度15名の唄侍が「オンチッチ」に集結、村上さんの「議事進行」よろしく、恒例となっている馬場さんの「模範演技」をスタートに、それぞれこの1年の想いを歌に託し、お腹の底から声を出して、明日への糧と



オンチッチに集合した歌侍

しつつ、みんなで「年忘れの会」をエンジョイしました。

年が明ければ、年齢が一つ重なっていきますが、声が衰えない限り、現状キープは請け合いです。それぞれ歌っている姿は、到底実年齢とは思えないほど若々しく、将に「歳忘れ」です。ママ手造りのご馳走を愛でながら、飲んで歌っているうちにいつの間にか時が経ち、中締めは、いつもどおり肩を組みながら、声高らかに「都の西北」を熱唱、さらにオマケを楽しむ方は、夜の更けるまで往く年を惜しみながら、ご発声に勤しんでいました。

曲目次のとおり（敬称略、歌の順、最初の3曲）。

1. 馬場 清彦 ①ひばりの佐渡情話 ②なみだ船 ③望郷酒場
2. 比護喜一郎 ①夜霧のブルース ②昭和ブルース ③流水
3. 高橋 哲男 ①「いちご白書」をもう一度 ②北酒場 ③Far Away
4. 渡邊 真司 ①イミテーションゴールド ②お祭りマンボ ③あなたのブルース
5. 高柳 康夫 ①あの鐘を鳴らすのはあなた ②東京の花売娘 ③冬のリヴィエラ
6. 長谷山勝美 ①女のためいき ②城が崎ブルース （所用により中途退席）
7. 小山田朋樹 ①ハナミズキ ②あなたに逢いたくて ③天城越え
8. 安藤 信雄 ①雪の渡り鳥 ②柔 ③踊子
9. 中村 敏明 ①人生の空から ②チャンピオン ③千の風になって
10. 安次峰 暁 ①ひとり寝の子守唄 ②裏町人生 ③支那の夜
11. 東海 俊孝 ①酒と泪と男と女 ②みちのくひとり旅 ③風雪ながれ旅
12. 帆角 信美 ①津軽平野 ②上海帰りのリル ③石狩挽歌
13. 後藤 秀作 ①夢の途中 ②奥入瀬 ③もしもピアノが弾けたなら
14. 平山 正経 ①酒場の金魚 ②酒場にて ③東京ブルース
15. 村上 万里 ①冬の稲妻 ②傷だらけのローラ ③月のあかり



高柳 康夫記



＜ラグビー観戦部会＞

春から危ぐし、覚悟もしていたことではありますが、年越しのラグビーは無しになってしまった。W杯で日本が3勝も挙げラグビー人気が盛り上がってきた時、我が早稲田は昨年に続いて残念。FWが予想以上に成長してくれたが、怪我人もいて BACKS の DEFENCE は強い岡田君を SH から CTB にコンバートしても思うように行かずのまま。

27日は昨年も最終戦となった東海相手。4年生にとっては大学生活最後の試合。成長を楽しみに入学時から応援してきた選手達が、強敵に真っ向勝負を挑み好試合してくれる事を期待して応援に行きます。

12月21日 藍原 昌義記

部会だより

＜ウォーキング部会＞ 第52回 長瀬・宝登山の蠟梅園を散策

日時：1月28日(木)09:10 a.m. 東久留米駅改札口集合

*申し込み不要 *雨天・強風等の場合2月4日(木)に延期

費用：参加費300円 交通費*合計2,614円、

*交通費内訳 西武線、秩父鉄道、宝登山ロープウェイ

(飲食代は自己負担)

東海 俊孝記



＜グルメ部会＞ 第27回 グルメ会

～のれんをくぐれば江戸の味わい～ 浅草「駒形」で“どぜう”料理を楽しもう！

世話人の怠慢で一年ぶりの開催です。今回は、江戸の風情をそのまま残す商家作りの浅草、ご存知『駒形本店』でどじょう料理を味わおうと思います。江戸時代の形をそのまま残した入れ込み座敷、炭火のどじょう鍋、座敷から眺める中庭…。至るところ江戸情緒で満杯です。

食後、鍋で温まった身体で冬の浅草を散策するのも一興と思います。多数の参加者を期待しています。混雑が予想されますので、昼食コアタイムを避けて会食時間を13:30からと遅めに設定しました。お含み置きの上ご参加ください。なお、食後の浅草散歩は自由参加とします。

開催日時：平成28年2月3日(水)

集合場所：東久留米駅中央改札口前 11:45

グルメ会場：浅草本店「駒形どぜう」

東京都台東区駒形1-7-12 TEL:03-3842-4001

会費：6,000円

申し込み：＜締め切り＞1月25日(月)、＜申し込み先＞比護喜一郎

固定TEL・Fax:042-474-1534 携帯TEL:090-8497-8200 メール:integ@jcom.home.ne.jp

比護 喜一郎記



＜カラオケ部会＞ 「安藤信雄さんの米寿を祝うカラオケ会」

いつも「カラオケを楽しむ会」にご出席いただいている安藤信雄さんが2月8日に米寿を迎えられるので、有志一同でお祝いのカラオケ会を開催します。どなたでもご参加いただき、みなでお祝いしましょう。



1. と き：平成28年2月9日(火) 午後6時
2. と ころ：オンチッチ 市内東本町1-9 TEL 042-477-7333
3. か い ひ：4,000円
4. ご連絡：高柳康夫 TEL:042-473-3559 携帯:090-8741-8424

E-mail: y-takayanagi@watch.ocn.ne.jp

なお、ご参加の方は、2月8日(月)までに必ずご連絡いただきますようお願いいたします。 高柳 康夫記



＜諸芸術鑑賞部会＞ 第 11 回芸術鑑賞会「早稲田大学交響楽団ニューイヤーコンサート 2016」

新しい年を迎え、それぞれ希望を新たにされておられることでしょう。
例年会員をお誘いし、ご参加いただいている早稲田大学交響楽団による
「ニューイヤーコンサート 2016」は、本年も 2 月 11 日(木)
—建国記念日—to開催されます。開催日は 2 月になりましたが、新春を
祝う恒例のシュトラウスファミリーのワルツも第一部で演奏されます。
第二部では私達が聞き慣れた名曲がプログラムされています。



活力が湧いてくるような響き、華やいだ祝福に満ちながら荘厳さを感じ
る調べ、そしてドボルザークの「新世界」は金管楽器やチェロの音色
が、美しく広大な大地、壮大な自然、懐かしさ等々様々な想いに誘われ、いつ聴いても新鮮です。
皆様とご一緒に鑑賞したいと思います。(詳しくはチラシで参照下さい)

日 時：2 月 11 日(木)祭日・建国記念日 午後 5 時開演 (午後 4 時 30 分開場)

場 所：練馬文化センター 主催：練馬稲門会 チケット：指定席¥3,500-、自由席¥2,000-

参加申込：1 月 20 日(水)までに、菱山房子までご連絡を。Tel&Fax:042-473-5964、090-1706-7117

菱山 房子記

＜映画鑑賞会＞ 『大いなる幻影』 2 月 24 日(水) 午後 2:00～ 於：成美教育文化会館

昨年、稲門会の二代目会長 高橋氏が死去され、生前この作品を上映してもらいたいと希望されていたので、追悼の意味を込めました。(なお、同氏はこの鑑賞会の創始者でもありました)

この作品は印象派の画家ルノワールの長男、ジャン・ルノワール監督の代表作です。

第 1 次大戦下仏軍の大尉(P・フレネ)とマルジャル中尉(J・ギャバン)は独軍の
捕虜となり、脱走直前に収容所を移される。マルシャルはユダヤ人財閥出の中尉
(ダリオ)と共に脱走、スイス国境で未亡人との束の間の愛を育む。脱走劇をヒュ
ーマンなタッチで描いているが「戦争は終わる！幻影さ」というペシミズム。貴
族出身の独軍将校(E・F・シュトラハイム)のロマンチズム、階級や人種問題、
恋愛等々幅広いテーマが盛り込まれている。



監督：ジャン・ルノワール

主演：ピエール・フレネ、ジャン・ギャバン、エリッヒ・フォン・シュトラハイム

上映時間：115 分、 制作：1937 年フランス、日本上映：1949 年、 キネマ旬報ベストテン 2 位

米光 慶二郎記

東稲広報室

＜新入会員＞

新しい当会ホームページを見て、新たに下記 3 名の方が人会して下さいました。ご紹介します。

坂井 淑晃さん (44 年理工) 八幡町、
中村 敏明さん (45 年法) ひばりが丘、
横田 治彦さん (45 年理工) 前沢、



＜当会会員 川俣榮一さんの新刊著書紹介＞

当会会員、川俣榮一さん(28 年理工学部卒、現在小山高等専門学校名誉教
授、佐野女子短期大学名誉教授)が、卒寿を機に新刊著書を上梓したとのこと
で、ご紹介をいたします。

『線形計画法入門』(月浪書店 A5 判 191 頁 本体価格 1,800 円)





やっぱり猫が好き

片平 るみ(51年 文)

あなたは犬派ですか、猫派ですかという問いかけを、誰しも一度は目にすることがあるに違いない。犬とは20年以上、猫とは35年以上一緒に暮らし、犬も猫も好きではあるが、ここはやはり、猫派に一票！と言わざるを得ない。猫派の主張は出尽くした感があるけど、私なりに付け加えたとしたら…

猫には嫉なんてなくていい、してもどうせムダだし、ただ可愛がればいだけ～という素晴らしい美点があることだろう。何しろ、自分の子供を嫉めることさえ自信がないのに、円らな瞳を持ち、フワフワの毛にくるまれた可愛い子猫にダメとかコラっとか言うのはしんどすぎる。勿論、トイレの嫉だけは必要だが、これはすぐに覚えてくれるので、何の苦労もない。あとは、あるがままを受け入れ、眼を細めて眺めていればいいだけだ。まあいうなれば無責任飼い主でいられるということだ。

そんな飼い主と、猫との印象的な思い出を振り返ってみよう。

それは私がまだ3歳くらいの頃の話。念願だった鋏の使い方を教えてもらい、チョキチョキと鋏の音も軽やかに、与えられた紙を切っていた。紙を切り尽くした目に飛び込んで来たのは、猫の耳！ 香箱座りをして耳をピクピク動かす様子は、まるで切って切ってと誘っているかのよう。そんなに言うなら、と耳に鋏をあて、チョキンと1センチばかり切れ込みを入れてみた。猫はおもむろに立ち上がり、ニャンとも言わず、静かに立ち去った。駆け付けた母から、叱責されはしなかったが、どうやら猫の耳を切ってはいけなかったらしい事を私は学んだのだ。

以上は巣鴨に住んでいた頃の話で、その後清瀬に移り、さらにその後50年住むことになる中野区に引っ越したが、耳切り以降、猫とは縁がなく、ずっと犬との生活が続いていた。

ところで、私の母は、33歳で未亡人になるという不運にあったが、20代後半で子宮ガン、40歳で乳ガン、45歳で甲状腺ガンにかかるという不運にも遭遇している。甲状腺ガンの手術後は、本人の不安感が強く、昼間、一人で家にいることが出来ないという。仕方ないので、昼間は薬の力を借りて寝てしまい、夕方、私が出社から電話をして起こすという生活を続けた。いつまで続くのやら…と思う余裕もないくらい、必死の日々。が、ある日、家に帰るとマリのような物体が駆け寄ってくるではないか。そう、子猫。赤いリボンを首に結んだ茶トラの可愛い子猫だった。その日以降、子猫の世話をせねば、と母は昼間も一人で過ごせるようになったのだ。救世主となった子猫…これが35年前の出来事、それ以来、猫は2～3匹、多い時は4匹くらい同時に飼うようになり、結婚後もその習慣に変わりはなく、現在も3匹の猫と暮らしている。



以前住んでいた住宅の庭では、猫たちが5匹、安らかな眠りについていました。引っ越しが決まった時、そのお墓が気がかりだったけど、掘り返すわけにもいかず、周辺の土をスコップ5杯分持ってきて、今の家の庭にまいりました。この土に乗るのよ～、一緒にひばりヶ丘に行こうねと呼びかけながら。

先に逝ったペットたちは、虹の橋でやがて必ずくる飼い主たちを待っているという。再会したその時、彼らは喜んでくれるかな～。ちょっと心配なこの頃である。

＜編集後記＞

あけましておめでとうございます。1月6日は小寒、寒の入り。立春になる寒の明けまでの約1ヶ月が寒の内。寒に入って9日目に雨が降ると「寒九の雨」といって豊作の吉兆とされているとか。

この程、会員増強及び部会活動の多様化を検討することを目的にして、役員を主体とする2つのチームがスタートします。成果を確実に挙げる事が出来るように新しい視点で取り組むことになっています。